

令和6年度 社会福祉法人宏育会 事業報告

1. 基本方針 地域活動への積極的取り組みと実践

2. 具体的取組

- (1) 新年度からのこども園開園をきっかけとし、宏育会全体で地域活動を再度見直し計画・実践していく。

→**結果報告** 令和6年度は、コロナ後の施設サービスを意識し、対応し始めた。特養・短期入所においては、施設内面会を実践し、一年通じて実施出来た。ご入居者家族様より、時間制限はあるものの、会う機会が大幅に増えて、「うれしい」「ありがたい」の声が沢山聞こえてきました。施設行事も、人が密になる注意を払いながら、人と人が交流できる場(夏祭り・秋祭り・各イベント・各行事食等)を提供出来た。特に夏祭りを通じては、ひばりこども園とも交流が実施出来た。継続して行きたい。

また、各通所リハビリ・通所介護においても、人が密になる注意を払いながら、人と人が交流できるイベント等を実践出来た。更なる、利用者満足に繋げていきたい。

地域活動も朝明高校・西朝明中学校・下野小学校・各地域の老人会並びに地域社協等と連携を実施した。引き続き、継続対応をしていく。

- (2) 事業継続計画(BCP)の義務化に伴い、計画と訓練の実施について理解、周知していく。

→**結果報告** 計画に伴う訓練が令和6年度、実施出来た。令和7年度も引き続き、訓練を実践し、事業継続体制を強化していく

- (3) 引き続き利用者様、家族様から信頼される事業所を実現するため、職員間のコミュニケーションを密に取っていく。

→**結果報告** 介護サービス提供するにはまず、人が必要です。その為に、組織地盤をしっかりとし、職員皆が協力しあい、自己研磨できる環境を作っています。また、介護職員の働き方を機械・器具等を使用し、効率化が出来るよう業務編成を実施しました。浴室器具の新購入・介護入力機器導入(ipad)し、更なる介護職員の負担軽減を実施していきます。

令和6年度 特別養護老人ホームよっかいち譜朋苑 事業報告

一、方針

- 1 職員にとって笑顔で働き続けることが出来、切磋琢磨出来る職場づくり
- 2 利用者様が笑顔で過ごせる様、職員人材・環境・楽しみを整備づくり
- 3 組織力・管理体制の強化 ④儲ける事の大事さへの理解・協力・努力

二、具体的目標

1 職員にとって笑顔で続けることが出来、切磋琢磨出来る職場づくり

→**結果**→●幹部職員の声聞く面談等を実施した。次に職員成長につなげるべく、今の時代に即した人事評価制度を職員目線で構築したい。(現在、令和7年度、人事評価制度研修を実施中)●各研修等に参加させることが出来た。(初級・中間管理・ユニット管理者・リーダー・喀痰吸引・実務者研修等)更なる向上の為、今年度も学びの場の提供を実施していきたい。また苑内Web研修を令和6年度開始した。職員令和7年度の知識向上につながった。令和Web研修を継続し、学びの場を提供する。●入居者様の家族面会が時間制限はあるものの、午後の時間を使用し、予約不要で面会が実施出来ている。また、各行事等のイベントも密に防止を図りながら、実施出来ました。今年度も入居者様が楽しむイベントを実施していきたい。

2 利用者様が笑顔で過ごせる様、職員人材・環境・楽しみを整備づくり

→**結果**→●職員が働きやすい環境整備をすべく、入浴機器及び入居者様寝台を購入しました。また効率化をすべく、ipadを購入し、入力のをやすさを導入しました。引き続き、令和7年度も職員労働環境整備をすべく、職員考課制度の再構築、介護サービスの変化にしっかり向き合っていきます。また、職員懇親会及び日帰り旅行等も令和6年度実施出来ました。引き続き、職員の交流をしっかり図っていきたくと思っています。

3 組織力・管理体制の強化

→**結果**→●職員教育の一環としてWeb研修及び各種研修を実施しました。令和7年度も継続実施を行い、職員のスキルアップを目指していきます。

4 儲ける事の大事さへの理解・協力・努力

→**結果**→

●従来型特養は予算に対して、△3,917,139円。ユニット型特養に対して△58,560,752マイナス実績となった。要因としては、①空き部屋に対して新入居者をスムーズに案内出来なかった事 ②夜勤できる職員確保が計画的に出来なかった事が要因をして挙げられる。改善すべく、令和7年度4月より新入居受け入れ体制を稼働している。今まで施設長池田が特養受け入れ対応を兼任していたが、令和7年度4月より専任者(主任田中)を配置。また、職員教育対応として、従来型特養課長に前施設長村中課長を配置した。

三、令和6年度 収入報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期		
従来型予算	15,200,000	15,269,000	15,200,000	15,269,000	15,269,000	15,269,000	91,407,000	単位(円)	
従来型実績	15,410,578	16,344,377	15,784,117	16,441,053	15,392,296	14,269,355	93,641,776		
ユニット型 予算	32,508,000	32,698,000	32,508,000	32,698,000	32,698,000	32,508,000	195,618,000		
ユニット型 実績	27,515,861	29,620,369	28,934,022	31,067,183	30,279,558	29,442,526	176,859,519		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	合計	
従来型予算	15,269,000	15,200,000	15,269,000	15,269,000	14,254,000	15,269,000	90,530,000	181,937,000	
従来型実績	15,114,916	14,931,830	15,593,400	13,452,332	12,139,676	13,145,931	84,378,085	178,019,861	△ 3,917,139
ユニット型 予算	32,698,000	32,508,000	32,698,000	32,508,000	31,057,000	32,508,000	193,977,000	389,595,000	
ユニット型 実績	30,495,195	30,899,769	31,157,796	30,839,499	27,385,857	30,912,474	181,690,590	331,034,248	△ 58,560,752

令和6年度 短期入所(従来型) 事業報告

一、基本方針

- 1、利用者様への介護サービスの質の向上 ※特にレクリエーション・体操・歩行の習慣化
- 2、利用者様の日常生活動作の維持及び向上
- 3、家族の「助けて」声に対する柔軟な対応及び新規利用者獲得

二、具体的目標

- 1、介護サービスの更なる向上を実施し、利用者様に喜んで頂くサービスへ変化させていきます。特にレクリエーションや体操・歩行の習慣化に努める次第です。また、個々の知識・技術の向上にも努め、資格取得を目指します。苑内・苑外の研修にも積極的に参加し、様々な知識・技術の吸収を図ります。
結果→定期的に口腔体操・集団体操等実施ができています。更なる余暇活動充実に活動してまいります。
- 2、施設内でも日常生活動作の維持向上に努めます。特に「歩く」「動く」「移動する」をキーワードに実施を行っていきます。利用者様が多く楽しんで頂けるよう、サービス提供に努めます。**結果**→実施継続中
- 3、家族様の立場になって考え、より良い短期入所の利用方法を共に模索していきます。特に困難ケースと称する利用者の受け入れを関係部門と連携を強化し、対応していきます。また、新規利用者をリピーター利用者になるように関係各位と連携します。
結果→実施継続中

三、令和6年度 収入目標

(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期		
従来型SS予算	5,428,000	5,610,000	5,428,000	5,610,000	5,610,000	5,428,000	33,114,000	単位(円)	
従来型SS実績	6,523,356	5,982,501	6,712,329	5,905,412	5,358,817	6,308,062	36,790,477		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	合計	
従来型SS予算	5,610,000	5,428,000	5,610,000	5,610,000	5,106,000	5,610,000	32,974,000	66,088,000	64,044,846
従来型SS実績	6,141,743	6,584,574	5,846,095	3,285,828	6,681,733	5,323,196	33,863,169	70,653,646	

結果→予算を達成出来た。生活指導員のベットコントロール及び現場介護職員の迅速な介護提供の実施による結果である。引き続き、サービスの継続を図っていく。

令和6年度 よっかいち諧朋苑デイサービス事業報告

令和6年度のデイサービスご利用者は、延べ8,288名(平均690.6人/月)でした。1日平均26.9人(前年度比 延べ人数3.7人増)。事業収入は64,385千円で、前年度比4,146千円の増収でした。

コロナが緩和され増収を見込みましたが、基準緩和通所型サービス(サービスA)は、延べ327名(平均27.3人/月)のお客様にご利用いただきました。

令和6年度取り組みとしては、昨年度に続き、新規利用者を受け入れ、引き続き他事業所居宅への訪問を継続し、柔軟なサービス提供時間の提供、送迎可能エリアの拡大などニーズに応じた対応を行ってまいりました。月行事やイベントの再開の充実を目標に上げましたが、スタッフの欠員等で「楽しいデイサービス」の実践が思うようにできなかったのが来年度も継続していきたい。

□利用者人数

	延べ人数				1日平均			
	R6年度	R5年度	前年比	サービスA	R5年度	R5年度	前年比	サービスA
4月	635	614	21	35	24.4	24.6	-0.2	5
5月	700	643	57	40	25.9	23.8	2.1	5.7
6月	653	620	33	33	26.1	23.8	2.3	4.7
7月	704	604	100	34	26.1	23.2	2.9	4.9
8月	748	629	119	34	27.7	23.3	4.4	4.9
9月	711	628	83	31	28.4	24.2	4.2	4.4
10月	803	582	221	34	30.9	22.4	8.5	4.9
11月	740	571	169	20	28.5	22	6.5	2.5
12月	682	580	102	18	26.2	22.3	3.9	2.3
1月	627	535	92	17	26.1	22.3	3.8	2.1
2月	580	583	-3	16	24.2	23.3	0.9	2
3月	705	600	105	15	28.2	23.1	5.1	1.9
合計	8,288	7,189	1,099	327	26.9	23.2	3.7	3.8

□事業収入

上期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
R6年度	4,935	5,648	5,202	5,394	5,461	5,894	32,534	
R5年度	5,328	4,968	4,951	5,591	5,214	5,386	31,438	
前年比	-393	680	251	-197	247	508	1,096	
下期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
R6年度	5,970	5,645	5,493	4,877	4,277	5,589	31,851	64,385
R5年度	4,797	4,881	4,877	4,562	4,744	4,940	28,801	60,239
前年比	1,173	764	616	315	-467	649	3,050	4,146

(単位千円)

令和6年度 通所リハビリテーションかがやき 事業報告

通所リハビリテーションかがやきリーダー 竹野

一. 実績報告

①利用者数と売上の推移

本年度の通所リハビリテーション「かがやき」は、延べ利用者数7,765名(前年比+27名)と微増し、平均利用者数も26.3名へとわずかに増加しました。特に10月以降は回復傾向が強く、3月には月間708名(前年同月比+45名)と大きく伸びました。

年間売上は67,413千円(前年度比▲1,958千円)となり、上半期は利用者数の不安定さなどにより32,774千円(同▲2,132千円)と減収でしたが、下半期は34,639千円(同+174千円)と持ち直しました。なお、介護福祉士不足により一部加算の算定ができず、概算で約1470千円の減収となった点は、来年度以降の重要な課題です。

② 訪問リハビリテーションの状況

訪問リハビリテーションは、前年同様に事業再開には至りませんでした。人員体制(理学療法士の育児休業、介護職・運転手の人員減)によりサービス提供が困難な状況が継続し、今年度の延べ利用者数は0名、事業収入もありませんでした。今後は育児休業からの復帰状況や採用活動の成果を見ながら、再開に向けた準備を進めていきます。

二. 総括

本年度は、通所リハビリにおいて利用者数が堅調に推移し、実売上は67,411,819円、予算(66,000,000円)に対して達成率102.1%という結果となりました。前年に比べ大きな成長ではなかったものの、安定した事業運営が実現できたと評価しています。一方で、訪問リハビリの休止が継続し、介護福祉士不足による加算停止など課題も顕在化しています。これらについては、計画的な採用や職員育成を通じて対応し、来年度以降の回復と拡充を目指してまいります。

売上								(千円)
上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
R5年度	5660	5651	5994	5857	5807	5937	34906	
R6年度	5677	5316	5304	5652	5173	5652	32774	
前年度比	17	▲ 335	▲ 690	▲ 205	▲ 634	▲ 285	▲ 2132	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間合計
R5年度	6072	5488	6057	5307	5555	5986	34465	69371
R6年度	6059	6029	6009	5307	4919	6316	34639	67413
前年度比	▲ 13	541	▲ 48	0	▲ 636	330	174	▲ 1958

月別利用者数								(人)
上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
R5年度	623	641	676	663	653	662	3918	
R6年度	632	627	616	652	612	632	3771	
前年度比	9	▲ 14	▲ 60	▲ 11	▲ 41	▲ 30	▲ 147	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間合計
R5年度	666	622	674	577	618	663	3820	7738
R6年度	730	678	708	609	561	708	3994	7765
前年度比	64	56	34	32	▲ 57	45	174	27

令和6年度 よっかいち諧朋苑居宅介護支援サービス 事業報告

- ・令和6年度の居宅職員は5名(3名プラスうち在介兼務が1名・施設兼務が1名)
- ・令和6年度居宅件数は介護支援専門員5名体制で1ヵ月170件(要介護100件・要支援70件)という予算を設定していましたが、実際は1ヵ月平均162件(要介護100件・要支援62件)と未達でした。

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護(人)	94	99	101	100	91	107
要支援(人)	60	58	62	62	64	62
合計(人)	154	157	163	162	155	169

下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護	99	105	107	100	96	104	100
要支援	63	68	62	62	62	61	62
合計	162	173	169	162	158	165	162(人)

- ・令和6年度予算は平均収入は1,525,170円/月でした。(目標は1,720,000円/月)
目標対比は88.6% 目標達成出来ませんでした。

(居宅としての具体的な取り組み報告)

1ー研修会や勉強会等への参加

○四日市市役所・地域包括支援センター・医療連携センターつなぐ主催の勉強会や研修 会に参加しました。今後もあらゆるケースに対応出来るよう研修会や勉強会に参加します。

2ーお客様を獲得するための営業について

○四日市市北地域包括支援センターより主に下野地区に住んでいる要支援の方を紹介いただき、また、介護相談対応し、お客様件数を増やしました。

○市立四日市病院・四日市羽津医療センター・みたき総合病院等 医療機関に入院している方の退院支援の相談対応を行い、本人支援・家族支援に努めました。

○令和6年6月27日、居宅に対する運営指導がありました。ご指摘を受け、業務改善報告書提出を行いました。管理体制の強化を実施し、再発防止対応を図っていきます。また、令和7年4月より新管理者にて、新しい体制を出発して行きます。

令和6年度 諧朋苑下野在宅介護支援センター 事業報告書

令和6年度は介護相談員2名、医療相談員2名の体制でスタートして、従来からの課題であった、相談を受けてからの対応が迅速になった事が実感出来た。地域NPOからの相談や地域民生委員児童委員からの直接相談など地域との連携や信頼関係が構築されつつあり、引き続き来年度令和7年度も相談業務を主に行事参加等、各関係機関等と協力・連携を取りながら、一人でも多くの方が地域で安心して生活できるよう、住みやすい地域づくりに貢献していきたいと思っております。

(具体的施策について)

- 1、 介護予防普及啓発事業(しもの・はつらつ健康塾)
今年度はフルに開催(12回)出来ましたが、参加者2人とか3人以下の為報告できない回数が4回ありました。楽寿会の会合の席で話をさせていただく機会が2回ありました。
- 2、 認知症対策や福祉知識の講座開催
認知症サポーター養成講座(計1回)を開催しました。
- 3、 地域ケア会議の開催
2年ぶりに対面での開催をしました。改めて対面での開催が良い事であると実感しました。今後も地域の課題など地域で検討していけたらいいと思っております。

相談件数は、前年度と比較し、高齢者の要支援・介護認定、事業対象者を始め、増加傾向にある状態です。地域ニーズは、下野・活き域ネット・民生委員等との情報共有・連携がうまくできている状態です。

令和6年度 ひばりこども園事業報告

<0歳児>マットの山や手作り滑り台を作りハイハイ運動や傾斜のぼりを室内でも行い運動機能の発達を促す努力をしたがバリエーションが少なく工夫が必要だったと反省している。さくらんぼリズムは他クラスから聞こえてくるメロディーに乗って興味を示し行う事が出来た。

<1歳児>さくらんぼリズムを日々の取り組みの中に入れたことで曲が流れると自然に子どもたちの体も動き体幹も少しずつではあるが備わっていったように思う。子どものうまく言葉にできない感情を保育者が代弁することで言葉の数が増え自分から友達に伝える姿が見られるようになった。

<2歳児>散歩に出掛けた際や戸外遊びの中で集団遊びを取り入れることで友達との関わりを喜び友だちと遊ぶ楽しさを感じられるようになった。

<3歳児>初めての事に慎重な子が多く集団の活動が難しい場面もあったが一人ひとりに合った関わりや支援を行うことで様々な事に楽しみながら参加する事が出来た。友だち同士の関わりが増えトラブルに繋がる事もあったがお互いの気持ちを伝え相手の気持ちに気づく事で少しずつ自分達で解決しようとする姿も見られる様になってきた担任同士で日々の子どものエピソードを振り返る事でしっかりと連携を取る事が出来共通の認識で子どもたちの姿に合った関わりができた。

<4歳児>子どもたちの姿に合わせ少人数でサークルをしたり活動を行う事で話を聴く自分なりに頑張っているという意識を持つ事ができたと思う。保育室内に製作コーナーを設け廃材や様々な素材を用意し自由製作ができる環境を整えた始めは自分のイメージする物を作る事が難しく、一人ひとりが試行錯誤しながら作っていたが年度終わりには皆で大きな段ボールハウスを作り、細やかな部分は子ども同士で相談しながら作り上げる事が出来た。

<5歳児>様々な行事に参加し経験を積む事で進級当初は自分の気持ちに折り合いをつける事が難しい場面も多く見られたが、色々な感情を受止めたりサークルで皆と話し合ったり考える場面を設ける事で友だちの思いを聞き入れ認めたりする事が出来る様になった又保育教諭の励ましにより難しい事にも挑戦し苦戦しながらも頑張っており取り組む事で自信をもって生活できる様になった。行事やするべき事が多く時間に追われてしまう事があったのもう少し年間を通して活動内容を考える事が出来たら良かった。

令和6年度 実績運営費及び園児数の状況

		運営費	園児数					単位:円・人	
			乳児	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
4月	令和6年度	10,822,200	8	20	21	23	22	21	115
5月	令和6年度	11,713,740	10	20	23	23	23	21	120
6月	令和6年度	11,704,180	10	20	23	23	23	21	120
7月	令和6年度	11,904,480	11	20	23	23	23	21	121
8月	令和6年度	12,226,950	12	20	24	23	23	21	123
9月	令和6年度	12,822,950	15	20	24	23	23	21	126
10月	令和6年度	12,832,750	15	20	24	23	23	21	126
11月	令和6年度	12,931,960	15	20	24	23	23	21	126
12月	令和6年度	12,797,370	15	20	24	23	23	21	126
1月	令和6年度	12,793,070	15	20	24	23	23	21	126
2月	令和6年度	14,351,870	15	20	22	23	23	21	124
3月	令和6年度	15,439,760	14	20	22	23	23	21	123
合計		152,341,280							

令和6年度 職員園内研修

月日	研修内容	参加者
6月14日	三重県保育士協会春季「配慮を要する子どもへの保育」	園長・副園長 主幹・以上児担当 未満児担当 一時保育担当 子育て支援担当 看護師 パート職員
8月3日	保育士支援アドバイザーによる「保護者対応について」	
8月10日	救命救急講習(AED)	
8月20日	保育士支援アドバイザーによる「日々の保育で困っている事について」	
9月20日	キャリアアップ研修「幼児教育」	
9月21日	キャリアアップ研修「乳児保育」	
9月27日	キャリアアップ研修「障害児保育・保健衛生安全管理」	
10月23日	保育士支援アドバイザー研修についてのまとめ以上児	
10月25日	保育士支援アドバイザー研修についてのまとめ未満児	
11月22日	三重県保育士協会秋季研修報告会	

* その他外部への研修、zoomでの研修に随時参加した。

令和6年度 ひばりこども園子育て支援事業報告

<たまひよクラブ>

・今年度は参加して頂く人数が少なかった為0歳から就学前のお子さんが一緒に楽しむ事が出来た。子育て支援室の真ん中に赤ちゃん用のスペースを作りその周りを囲む様に遊びのスペースを作った事も良かったのではないかと思います。参加人数は全体的に少なかったもののクリスマスの製作等、製作になると人数が多い様に感じた。何か課題を持ち進めようとする、物理的に説明を行ったり製作に対してサポートが必要になるので次年度も製作をする事があればその時間は担当の職員を2人にしたりと工夫をして進めていきたい。園内での行事だったので一人の保育教諭で行う事が出来たものの一時保育の問い合わせや子育ての相談等になると他の利用者さんへの対応が出来ない状況になる事がしばしばあったので何かあった時はヘルプが呼べる対応策を考えていけると尚良かったと感じるので、来年度の課題としていきたい。

<ぼかぼか(おひさま児童館)>

・おひさま児童館はひばりとして一番人数が集まる会となった、児童館の先生方もひばりの行く火曜日の利用人数が多いとの声を頂いた。理由としては読み聞かせをしてくれたり園から持って行く手づくりの玩具が増えたりするのが良い点だと考える。つばめ児童館に通う方が多くたまたまおひさまに来た方がひばりの事を知って頂く良い機会となった。11:45分までの予定だが赤ちゃんはその時間迄待たず11:30頃になると帰られる方がほとんどであったが保護者さんも納得されている様子である。

<公民館(出前保育)>

・全体的に人数が少なく目的をはたしているかが不安である、その地域の方が来る事は無く毎回同じ方が3組程度来て頂いているのみであった、一番人数が多かったはずの豊田公民館も現在は人数が減ってきている。来年度に向けて何か取り組みの仕方を考えたりする必要があると考える。

<予約制イベント>

・子育て支援改装工事の為後半より予約制のイベントを行った。音楽遊びと親子ヨガのみではあったが同じ方が毎回参加して頂いている様子が親子共に楽しんでくれていた様に感じる。予約制の行事なので当日必ずキャンセルが出る様に感じるので予定の人数とプラスしてキャンセル待ちの枠も作っておけると良いと感じる。

令和6年度一時保育実績報告書

ひばりこども園

・4月・5月・6月

前年度とは違い、新規のご利用者さんからのスタートとなる。本年度は園舎の工事があり、一時の部屋が使えず支援ホールの部屋で行う。昨年度からのご利用者が少なく新規の方のスタートだが、慣らし保育も行うことができ、親子とも保育園に慣れた状態からの長時間へ移行が出来たのでよかったと思う。また、お弁当持参だったが、今年度、偏食の子が多かったので、自分の好きな食べ物を入れていただくお弁当が一人一人に合っていてとてもよかったと思いました。人数制限もあったので、少人数でゆったりとした雰囲気の中で、子どもと関わることや、生活習慣、遊びなど、丁寧に関われたと思います。

一人で保育を行っていたので、園舎から離れたところになにかあったときは一人では対応しないといけないので(災害時や)不安もあった。離れて人目が見えないところでの保育は、みんなで連携しながら、保育者が一人で保育を行わないように考えていく必要があったように思う。

・7月・8月・9月

夏休みに入り、幼稚園児の利用が増えるように思ったが実際には、あまり利用が無かったように思う。幼稚園に通う子たちで、夏休み利用する子たちの中にも困り感があったように思う。スプーンを持って食べられない、友だちとのかかわり方が難しい子などもあるので、一人ひとりの子と関わりながら、伝える事ができたと思う。

また、お姉さんのように子どもたちと関わり、優しく接してくれる子もおり、その子の優しさに遊びを一緒に遊んでもらい、優しくしてもらう事を喜び穏やかに過ごす日々が夏休みの間にできたと思う。

・10月・11月・12月

工事が終わり、一時の部屋に戻り、給食が初めてスタートする。偏食が多い子が多かったので、給食が食べられずに終わってしまう子がいるかと心配だったが、お弁当からスターをしていたので、その中で信頼関係を築いていけていたので、給食もなんとか食べられる事が出来た。また、給食も一切食べられない子もいたが、保護者の方と話し合い、一旦お弁当に戻す事を行い、皆で食事を行うことが身に付くようになったと思う。

・1月・2月・3月

固定の利用者さんも一定に利用してくれ、新規のご利用者さんも増え、人数も以前より増える。

一定利用の方が多かったので、子どもたちも落ち着いて遊べたり、生活習慣が身についてきている姿も見られて、成長を感じる月でもあった。お弁当から、給食に移行するにあたり、困り感を持つ方の利用が増えてきたように思う。活動の変わり目の時や、遊びの区切り、排泄、食事など援助が必要な子が多く、人数が多く保育が行うことができない環境になってしまうこともあったので、人数ばかりとるのではなく全体のバランスを考えて、安全な保育が行える事ができるか、確認をする必要がこれからもあるように感じました。

・今年度、情報提供をおこなった。保護者の方が保育園の様子を見ることができてよかったと言っていました。

・言葉だけでは、わからない保護者の方もみえるので、持ち物など来年度も写真を見せて説明をしてあげてほしいです。

・大切なポイントは、マーカーで線をつけるようにしてわたしたほうが良いと思います。(今年度、プリントを全部読んでいるとは限らないと言われたことがあるので。)

令和6年度 よっかいちひばりこども園事業報告

<0歳児> 温かな雰囲気の中で一人ひとりにあった生活リズムに合わせ、食事・排泄・午睡ができるようにした。又、ふれあい遊びやわらべうたを通して、子どもたち一人ひとりとの愛着関係を築くことができた。

<1歳児> 自然豊かな園周辺に散歩に出掛け、植物や虫などに触れて遊ぶことができた。春は桜の木の下で花見をしたり、秋はどんぐりや落ち葉拾い、冬は畑にあるみかんを食べたりと四季折々を感じる遊びができた。

後半は、ひばりの丘で全身を使って遊び、体幹作りにつながった。

<2歳児> ひばりの丘で、高低差のある場所での上り下りやそり滑りをし、遊びを通して手や足の力をつけることができた。手作りした一人ひとりの散歩バックを持って出掛けることで、友だちともかかわりを持ちながら、自然探しを十分に楽しめた。後半には、保育者や友だちとの言葉のやりとりも広がった。

※0・1・2歳児を通して、日常的にさくらんぼリズムを取り入れ、継続的に行うことで体幹作りができた。

<3・4・5歳児異年齢児保育> 年度初めから3歳児も異年齢児保育に参加したが、前半は子どもが落ち着かず、年齢が違う子どもたちのかかわりを大切に教育・保育を進めていく上で難しい部分があった。

職員間で振り返りや話し合いを積み重ねていくことで、子どもたちの成長と共に、後半は異年齢グループでよい関係を築けるようになりよかった。令和7年度は今年度の取り組みを教訓とし、前半は4・5歳児での異年齢児保育からスタートしたいと考えている。

<自然保育> 自然保育の取り組みとしては、アドバイザーを招き、ノギリやインパクトドライバーなどの道具を使い方を覚えたり、「秘密基地を作りたい」という子どもたちの気持ちを引き出すことで、子どもが隔週の自然教室を楽しみにしながら、実体験を通して様々なことを学ぶ事ができた。また、異年齢保育や自然保育を通して、自分で考えたり、行動するなど、生きていくために大切な非認知能力を伸ばすことができた。

<行事> 日常保育の延長線上に行事があることを大切にし、子どもたちや保護者、職員が楽しく参加できるものを行事として考え、それぞれが共に楽しんで参加できた。また行事を作り上げていく過程を大切にし、毎日の生活や遊びの中でサークルタイムを設け、子どもたち一人ひとりが自分の思いを出したり、友だちの意見に耳を傾け、

相手の思いを受け入れる経験を積み重ねることができた。

※後半は就学に向け、年齢別の取り組みも大切にし、年齢に合った一人ひとりの子どもの成長も担任間で確認し合うことができた。

※日常的な振り返りや雑談を通して、職員間のコミュニケーションが取りやすくなった。令和7年度はもっと職員の休憩やノンコンタクトタイムの保障を確保していきたいと思う。

令和6年度 実績運営費及び園児数の状況

		運営費	園児数					単位:円・人	
			乳児	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
4月	令和6年度	10,822,200	6	20	21	16	17	6	86
5月	令和6年度	11,713,740	7	20	22	16	17	6	88
6月	令和6年度	11,704,180	8	20	21	16	17	6	88
7月	令和6年度	11,904,480	8	20	21	16	17	6	88
8月	令和6年度	12,226,950	8	20	22	16	17	6	89
9月	令和6年度	12,822,950	8	20	22	16	17	6	89
10月	令和6年度	12,832,750	8	20	22	16	17	6	89
11月	令和6年度	12,931,960	9	20	22	16	17	6	90
12月	令和6年度	12,797,370	9	20	22	16	17	6	90
1月	令和6年度	12,793,070	9	20	22	16	17	6	90
2月	令和6年度	14,351,870	9	20	22	16	17	6	90
3月	令和6年度	15,439,760	9	20	22	16	17	6	90
合計		152,341,280							

令和6年度 職員園内研修

月日	研修内容	参加者
4月30日	玩具の使い方	園長・副園長 主幹・以上児担当 未満児担当 一時保育担当 子育て支援担当 看護師 パート職員
5月10日	配慮を要する子どもへの保育 ～適切なかかわりとは～	
6月19日	配慮を要する子どもへの保育 ～よっかいちひばりこども園の保育の在り方について～	
7月12日	豊かな就学前人権教育実践交流会	
7月23日	豊かな就学前人権教育実践交流会	
8月17日	AED研修	
9月25日	キャリアアップ研修報告会	
9月27日	キャリアアップ研修報告会	
11月26日	幼児教育センター訪問報告 小学校接続報告	
11月28日	幼児教育センター訪問報告 小学校接続報告	

* その他外部への研修、zoomでの研修に随時参加した。

令和6年度よっかいちひばりこども園

子育て支援事業報告

<園・園庭・ひばりの丘開放> 月曜日～金曜日まで（水曜日は園庭ひばりの丘のみ）

園・園庭・ひばりの丘の開放では4月から12月前半まで利用はあったが、12月後半から以降の利用は月1回程度と少なかった。今年は11月でも暖かい日があった事もあってか前年度より遊びに来てくれる方が多かった。12月後半からは寒さもあってか利用が少なかった。

主に利用されていた年齢は0歳児から2歳児が多く一日利用が一家族ということが多く、他の方との交流が出来なかったように感じる。

今年度から下野地区のセンターだよりに子育て支援の情報を掲載していただいているので園庭開放の利用が増えることを願う。

<支援活動> 5月より毎月1回木曜日に開催 対象0歳児から就学前まで

支援活動では、親子で楽しめる遊びを毎月催し行った。

予約制であったが利用は特に0歳児～2歳児の子の利用が多く、入所を検討されている方が多かった。毎回予約がいっぱいになる事が多かったが、小さいお子さんが多い為、当日体調を崩してキャンセルになる方もみえたので、予約を少し多くとっても良いのかもしれない。

昨年引き続き自然豊かな環境を生かした遊びを取り入れた内容は人気であった。

(ひばりの丘で遊ぶ・水遊び・芋ほり、みかん狩り)は人気だった。また、毎月参加していただける方も見えて、慣れてくると参加者同士でコミュニケーションをとり、交流が見られた。

<情報提供>

前年度に引き続き、年間予定のポスターと毎月のチラシを回覧(下野地区)や小児科、商業施設等に掲示を依頼し、案内を行った。子育て支援を知ったきっかけとして、回覧が一番多く、その次に商業施設・その他が多かった。

また、R7年度から下野地区センターだよりに情報を掲載していただけることになったので情報がさらにひろがり、利用していただく方が増えることを願う。

<育児相談>

育児についての相談は、園庭開放や毎月の子育て支援の中で受けることが多かった。特に入所について聞かれることが多かった。2月に行ったカフェタイムの中で参加者同士で育児について話せる時間を設けると年齢ごとの悩みやそれに対して他のお母さんから実際に子育ての中でしているアイデアを教えてもらえるなど良い機会になった。

令和6年度 よっかいちひばりこども園 一時保育事業報告

・<一時保育>

一年を通し、定期的に利用される方が多かった。利用理由は就労や産前産後、保護者の方のリフレッシュの方が多く、その中でも新規で利用される方は、出産を理由に家庭での保育が一時的に困難になる方の利用であった。無料クーポンを使われる方も多く、その後も継続して利用して頂ける方も多かった。

・<育児相談>

園での様子を伝えると家庭での姿と違う姿もあり喜んでいただく姿があった。保護者の方が子育てをしている中で気になる姿があると相談を受け話を聞きながら園での姿を伝えたり、園でしていることを伝えたりすることができた。

・<情報提供>

子育て支援のポスターに載せてもらうことで子育て支援参加の保護者の方や、四日市市からの紹介やHPで知って頂く方が多く問い合わせがあった。

・<4～6月>

昨年度からの継続利用の方が多く、慣れている子が多い中で新規利用で泣いている子に優しく接してくれる姿もみられた。

・<7月～9月>

2歳児の利用が増えてきて友だち同士で過ごす姿もみられるようになってきた。

・<10月～12月>

登録者人数に増加傾向があり、0，1歳児の方の予約が増え、特に0歳児は予約が入るのが難しくなってきた。

・<1月～3月>

仕事で利用される方が多く、リフレッシュでの利用は難しくなっていた。リフレッシュの方にも週に1日は利用していただけるようにしていた。

一年を通してたくさんの方に予約をしていただいたが予約が多くは入れない日もあった。カレンダーの予約にすることで、希望の日には入れるようにすることができたので良かった。

実績報告

	新規登録者数	実績者数	合計利用延べ人数	平均利用者数	利用理由(延べ人数)	
					仕事	その他
4月	22	13	49	3.5	34	13
5月	2	13	42	2.1	30	12
6月	4	13	35	1.84	27	7
7月	4	12	38	1.81	27	7
8月	2	15	19	1.46	12	6
9月	4	12	37	2.06	18	19
10月	1	12	39	1.86	23	16
11月	0	11	32	1.68	14	17
12月	1	10	28	1.87	14	17
1月	2	7	33	1.83	23	8
2月	2	10	29	1.61	20	6
3月	1	12	27	1.8	17	9
合計	45	140	408		259	137

令和6年度しものひばり保育園事業報告

4月 1才児5名(院内2名)、2歳児7名(院内2名) **計12名**。
5月 2歳児1名退所。(4月末) **計11名**
6月 1歳児1名退所。(5月末)、1歳児1名入所 **計11名**
7月 1歳児1名(院内)入所。 **計12名**(院内5名)
9月 0歳児1名入所(院内) **計13名**となる(院内6名)。
1月 1歳児1名退所(院内) **計12名**となる。(院内5名)

(春)

少人数のゆったりとした雰囲気の中で、ひばりの丘や近所の散歩など身近な自然の中で、自ら草花に手を伸ばして摘んだり、小さな虫を捕まえたり出来る様になり、散歩に出ているうちに、手にした草花等を持ち帰り降園時母に手渡したり優しい姿が見られた。

(夏)

感触遊び、水遊びを中心に過ごす。雨上がりにテラスに水たまりが出来ているのを見つけ2歳児が水たまりに足をつけて足跡を付けて遊ぶ姿を見て小さい子達も真似て同じように遊ぶ。中には嫌がって室内から出ようとしなない姿も見られたが回を重ねるうちに興味をもつ姿が見られた。

(秋)

散歩に出掛けると、飛行機やヘリコプターの音に気付き手を振ったり、落ちているどんぐり等の木の実に気付いて拾ったりし、小さい子も真似て木の実を拾う姿が見られた。散歩に出掛ける事は喜ぶが、歩いている途中で手を離してしまう子が多く、なかなか習慣づかない感じであった。

(冬)

雪遊びをテラスや部屋にシートを敷いて遊び、触る事から、テラスに積もった雪で雪だるまを作ったり、深い雪に向かってダイブしたりとダイナミックに遊ぶ事も出来た。雪がたくさん積もったので、雪遊びを連日楽しめ、ひばりの丘に出掛けたりして満喫出来た。

※職員の資質向上・・・保育の振り返りを日々行う。WEBによる研修。

よっかいちひばり保育園での園内研修。

令和6年度 しもの病児保育室ひばりルーム 事業報告

新型コロナウイルスが第5類に引き下げになり、1年経過したが感染力が高いことや治療薬もまだ乳幼児はないことなどから病児では受け入れは行わなかった。今後の状況次第では四日市市全体でコロナウイルスも受け入れを行っていく可能性もあるので、その場合は受け入れの際の注意点などを確認し、職員間で共通理解しておけるようにする。

今年度は年度初めにアデノウイルスやRSウイルス。夏場に手足口病。冬場はインフルエンザでの利用が多くみられた。定員3人いっぱいの満床日が続いたり、予約状況によっては受け入れができず、利用不可になってしまうことも多くあった。小児科や診療所などで受診・検査し確定診断がついている場合、年齢や発症時期、今の症状を考慮しながら同室での受け入れを行っていった。また少しでも利用不可数が少なくなるように兄弟や同症状の子を優先して予約を受けたりすることもあった。

今後を感染症の流行状況によってまた予約が混み合ってくる場合もあると思われるので、引き続き予約状況を見ながらできる限り利用不可が少なくできるように配慮していきたい。

就学児の利用が多く、インフルエンザで数日間利用する児童も多くみられた。施設の机や椅子、玩具などが小学生には不十分になってしまっている部分が見られたので、就学児向けに大きめの机や椅子などの備品を十分に用意していきたい。

乳幼児でも連続利用や複数回利用している子の遊びがマンネリ化しているようにも感じたので、遊びの提供方法の工夫や手作り玩具の充実など様々な方法を考えていきたい。

職員間で話し合いや保育中の出来事を確認し合い、こまめに必要な備品や玩具などを購入または用意できるようにしていく。

今年度は三重ブロック研修、東海ブロック研修に参加することができた。R8年度は全国病児保育協議会の三重ブロック研修大会の研修開催担当に当たってくるので、R7年度も積極的に研修に参加し、どのような研修を開催するか職員間で協力していけたらと思う。

2023年度実績人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	32	35	43	58	34	40	32	36	60	41	34	32	477
キャンセル数	29	42	48	48	27	37	43	30	30	19	22	22	397
入室できなかった数	2	2	13	10	7	3	4	0	18	11	2	2	74

利用者年齢別

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	合計
利用人数	6	101	82	53	70	67	35	30	26	6	0	1	0	477

病名・症状別利用人数

※病名は複数の場合があるため集計の数字と利用人数とは一致しない場合があります。

病名	感冒・感冒性症候群	咽頭炎	喉頭炎	結膜炎	扁桃腺炎	気管支炎	喘息・喘息性気管支炎	肺炎	中耳炎・外耳炎	膿痂疹	消化不良	感染性胃腸炎
利用人数	296	0	0	0	1	3	0	1	7	0	0	51
病名	腸管出血性大腸菌感染症	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	溶連菌感染症	咽頭結膜熱	流行性耳下腺炎	麻疹	風疹	インフルエンザ	その他	合計
利用人数	0	0	52	0	5	0	0	0	0	53	30	499